

総 社 市 水 道 事 業 の 概 要 及 び 経 理 の 状 況

【平成21年度上半期の状況】

本市の平成21年度上半期の給水量（有収水量）は、上水道と簡易水道を合わせて3,451,815 m³で前年度と比較して1.4%減少しています。また、給水件数は22,808件で3.1%減少しています。詳細につきましては、別表1 給水状況をご覧ください。

財政状況につきましては、別表2 損益計算書のとおり、税抜きで総収益5億3,208万8千円（前年度4億1,654万2千円）で27.7%の増となっています。

一方、総費用につきましては、税抜きで2億7,270万円（前年度2億6,853万4千円）で1.6%の増となっています。

今後の運営に当たりましては、経営の健全性を向上させるとともに、収益の増収と費用の節減を図り、収支のバランスのとれた企業運営に努めてまいります。

【平成20年度決算概要】

平成20年度の水道事業の業務量のうち年度末給水件数は、23,114件（上水21,020件、簡水2,094件）で前年度末に比べ93件（0.4%）増加し、年間給水量は、6,954,717 m³（上水6,315,894 m³、簡水638,823 m³）で前年度に比べ44,956 m³（0.64%）増加しました。

建設改良の状況につきましては、上水道事業では、農業集落排水事業、駅南区画整備事業などの公共工事に関連した配水管の移設及び布設工事並びに久代地区等へ受水を受けるため、配水池の場内配管の布設工事等を実施しました。簡易水道事業では、現在整備中の昭和簡易水道地区の日羽、作原、種井地区の配水管布設工事等の施設整備工事等及び美袋配水池の緊急遮断弁室築造工事等の施設整備工事を実施しました。昭和簡易水道の統合に向け引き続き計画的に事業を進めてまいります。

財政状況につきましては、上水道事業の事業収益は、料金収入7億4,212万2,018円などの営業収益7億8,967万9,625円、営業外収益787万8,954円、過年度損益修正益の特別利益1,864万2,990円の合計8億1,620万1,569円（税込額8億5,409万8,227円）で、前年度に比べ4,529万4,652円の増収となりました。事業費用は、営業費用6億7,876万5,852円、営業外費用9,777万9,599円、特別損失216万3,000円の合計7億7,870万8,451円（税込額8億1,032万5,572円）で前年度に比べ917万4,270円の増加となりました。この結果平成20年度の収益的収支は、3,749万

3,118 円の当期純利益が生じています。

簡易水道事業の事業収益は、料金収入 7,483 万 4,024 円などの営業収益 7,935 万 2,522 円、営業外収益 1 億 1,351 万 3,759 円の合計 1 億 9,286 万 6,281 円（税込額 1 億 9,681 万 1,179 円）で、前年度に比べ 4,893 万 5,791 円の増収となりました。事業費用は、営業費用 1 億 7,386 万 9,684 円、営業外費用 3,280 万 6,438 円、過年度損益修正損の特別損失 35 万 9,397 円の合計 2 億 703 万 5,519 円（税込額 2 億 958 万 7,538 千円）で前年度に比べ 2,552 万 240 円増加しました。この結果平成 20 年度の収益的収支は、1,416 万 9,238 円の当期純損失が生じています。

今後においても、水道事業の経営にあたり、総社市水道ビジョンに基づき、事業経営に必要な財源確保のため料金改定を視野に入れ、経営の健全化に努めてまいります。

1. 給水状況 上半期(H21. 9. 30現在)

区分	上水道			簡易水道		
	平成21年度	平成20年度	増減	平成21年度	平成20年度	増減
給水件数(件)	20,621	21,201	△ 580	2,187	2,349	△ 162
給水人口(人)	56,968	57,066	△ 98	6,987	6,528	459
配水量 (m ³)	3,765,452	3,805,587	△ 40,135	382,128	384,143	△ 2,015
給水量 (m ³)	3,126,224	3,181,147	△ 54,923	325,591	319,633	5,958
有収率 (%)	83.0	83.6	△ 0.6	85.2	83.2	2.0

2. 損益計算書 (平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(単位 千円)

項目	金額		
	上水道	簡易水道	合計
(1) 営業収益	427,452	41,835	469,287
(2) 営業外収益	140	62,661	62,801
(3) 特別利益	0	0	0
総収益 (1)+(2)+(3) A	427,592	104,496	532,088
(4) 営業費用	169,250	45,405	214,655
(5) 営業外費用	43,265	14,690	57,955
(6) 特別損失	94	4	98
総費用 (4)+(5)+(6) B	212,609	60,099	272,708
当期純利益(損失) A-B	214,983	44,397	259,380

3. 貸借対照表（平成21年9月30日）

上水道

(単位 千円)

項 目	金 額	項 目	金 額
固 定 資 産	7,780,179	固 定 負 債	87,476
流 動 資 産	1,844,463	流 動 負 債	131,821
		負 債 合 計	219,297
		資 本 金	3,249,624
		剰 余 金	6,155,721
		資 本 合 計	9,405,345
資 産 合 計	9,624,642	負 債 資 本 合 計	9,624,642

簡易水道

(単位 千円)

項 目	金 額	項 目	金 額
固 定 資 産	3,770,530	固 定 負 債	4,330
流 動 資 産	208,956	流 動 負 債	15,190
		負 債 合 計	19,520
		資 本 金	1,488,017
		剰 余 金	2,471,949
		資 本 合 計	3,959,966
資 産 合 計	3,979,486	負 債 資 本 合 計	3,979,486

4. 平成20年度決算の概要

損益計算書(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位 千円)

項目	金額		
	上水道	簡易水道	合計
(1) 営業収益	789,680	79,352	869,032
(2) 営業外収益	7,879	113,514	121,393
(3) 特別利益	18,643	0	18,643
総収益 (1)+(2)+(3) A	816,202	192,866	1,009,068
(4) 営業費用	678,766	173,870	852,636
(5) 営業外費用	97,780	32,806	130,586
(6) 特別損失	2,163	359	2,522
総費用 (4)+(5)+(6) B	778,709	207,035	985,744
当年度純利益(損失) A-B	37,493	△ 14,169	23,324

貸借対照表 (平成21年3月31日)

上水道

(単位 千円)

項目	金額	項目	金額
固定資産	7,660,967	固定負債	87,476
流動資産	1,834,413	流動負債	174,868
		負債合計	262,344
		資本金	3,325,514
		剰余金	5,907,522
		資本合計	9,233,036
資産合計	9,495,380	負債資本合計	9,495,380

簡易水道

(単位 千円)

項 目	金 額	項 目	金 額
固 定 資 産	3,750,418	固 定 負 債	4,330
流 動 資 産	217,689	流 動 負 債	97,938
		負 債 合 計	102,268
		資 本 金	1,485,095
		剰 余 金	2,380,744
		資 本 合 計	3,865,839
資 産 合 計	3,968,107	負 債 資 本 合 計	3,968,107

企業債残高明細

上水道

(単位 千円)

借 入 先	平成19年度 末 残 高	平 成 2 0 年 度		平成20年度 末 残 高	償 還 終 期
		借入額	償還額		
財 務 省	2,091,497	0	206,353	1,885,144	平成48年3月
公営企業金融公庫	834,686	92,200	134,542	792,344	平成46年3月
吉備信用金庫	0	105,100	0	105,100	平成31年3月
合 計	2,926,183	197,300	340,895	2,782,588	

簡易水道

(単位 千円)

借 入 先	平成19年度 末 残 高	平 成 2 0 年 度		平成20年度 末 残 高	償 還 終 期
		借入額	償還額		
財 務 省	997,928	0	25,997	971,931	平成50年3月
公営企業金融公庫	363,841	0	4,852	358,989	平成48年3月
合 計	1,361,769	0	30,849	1,330,920	

総 社 市 工 業 用 水 道 事 業 の 概 要 及 び 経 理 の 状 況

【平成21年度上半期の状況】

本市の平成21年度上半期の給水量（有収水量）は、131,701 m³で前年度と比較して16.3%減少しています。また、給水件数は昨年度と同様に19社に給水しています。詳細につきましては、別表1 給水状況をご覧ください。

財政状況につきましては、別表2 損益計算書のとおり、税抜きで総収益2,472万7千円（前年度2,076万2千円）で19.1%の増となっています。

一方、総費用につきましては、税抜きで1,518万2千円（前年度792万4千円）で91.6%の増となっています。これは主に施設の更新計画策定に伴う委託料の増加、特別損失等の減が主な原因です。

今後の運営に当たりましては、より一層の経費節減と経営の合理化を図り、安定給水と健全経営に向けて努めてまいります。

【平成20年度決算概要】

本市の工業用水道事業は、工業の振興と地域の発展に寄与することを目的として、昭和63年度に一部給水を開始し、平成20年度は19社に給水しています。給水量は、契約水量1日3,000m³（19社の合計）に対し、1日平均給水量768.1m³、1日1社平均給水量40.4m³で、年間の給水量は280,357m³となりました。

平成20年度の事業収益は5,146万846円（税込額5,283万28円）で前年度に比べ1,053万8,488円の減収で、そのうち給水収益は4,931万350円で前年度に比べ11万4,980円の減収となりました。事業収益の減少は、前年度に比べ過年度損益修正益の特別利益が減少したことが主な内容です。

事業費用は2,392万4,518円（税込額2,491万9,200円）で前年度に比べ69万517円減少となりました。事業費用の減少は、企業債利息の減少が主な内容です。

この結果、収益的収支の差引で2,753万6,328円の当年度純利益を計上することができました。

事業運営に当たりましては、引き続き効率的な経営に努め、事業の安定化に努めたいと考えておりますので、今後とも格別のご理解とご協力をお願いいたします。

1. 給水状況 上半期（平成21年9月30日現在）

区分	平成21年度	平成20年度	増減
給水件数(件)	19	19	0
年間契約給水量(m ³)	1,095,000	1,095,000	0
配水量(m ³)	135,434	159,639	△ 24,205
給水量(m ³)	131,701	157,338	△ 25,637

2. 損益計算書 上半期（平成21年4月1日～平成21年9月30日）

（単位 千円）

項目	金額
(1) 営業収益	24,705
(2) 営業外収益	22
(3) 特別利益	0
総収益 (1) + (2) + (3) A	24,727
(4) 営業費用	10,069
(5) 営業外費用	2,586
(6) 特別損失	2,527
総費用 (4) + (5) + (6) B	15,182
当期純利益 A - B	9,545

3.貸借対照表（平成21年9月30日）

工業用水道

(単位 千円)

項目	金額	項目	金額
固定資産	337,000	固定負債	10,631
流動資産	176,239	流動負債	5,678
		負債合計	16,309
		資本金	146,133
		剰余金	350,797
		資本合計	496,930
資産合計	513,239	負債資本合計	513,239

4. 平成20年度決算の概要

損益計算書(平成20年4月1日～平成21年3月31日) (単位 千円)

項目	金額
(1) 営業収益	49,310
(2) 営業外収益	2,151
(3) 特別利益	0
総収益 (1) + (2) + (3) A	51,461
(4) 営業費用	18,005
(5) 営業外費用	5,920
(6) 特別損失	0
総費用 (4) + (5) + (6) B	23,925
当年度純利益 A - B	27,536

貸借対照表（平成21年3月31日）

工業用水道

（単位 千円）

項目	金額	項目	金額
固定資産	339,527	固定負債	10,631
流動資産	171,603	流動負債	1,591
		負債合計	12,222
		資本金	157,657
		剰余金	341,251
		資本合計	498,908
資産合計	511,130	負債資本合計	511,130

企業債残高明細（平成21年3月31日現在）

工業用水道

（単位 千円）

借入先	平成19年度 末残高	平成20年度		平成20年度 末残高	償還終期
		借入額	償還額		
財務省	59,936	0	7,270	52,666	平成29年3月
公営企業金融公庫	75,786	0	15,029	60,757	平成26年3月
合計	135,722	0	22,299	113,423	